

教師になって、数えてみると19回目の修学旅行だった。行先は東京方面▼140人が団体行動をするのは、大変。新幹線に乗り遅れては大変。迷子になっては大変。様々なトラブルも予想しておかないといけない。学年主任の先生を中心に何か月も前から綿密に準備を進めてきた。子どもたちも新学期に入ってから、目標を立て、分散学習の準備や様々な場面でのグループづくりを進めて来た▼修学旅行は、当日だけのことではない。これまでのプロセス、行って帰ってきてからのまとめ、すべてを含めて修学旅行である▼今まで積み上げてきたことを発揮する場面であり、学校を離れ、家庭を離れたからこそ、見えることもある。しかしながら、先ずは、大きなトラブルなく、行って帰ってこられたことがなにより。先生方、保護者のみなさんありがとうございました▼旅行中は、すべてが団体行動ではないから、「解散」と「集合」を繰り返す。「集合」したら「点呼」。先ずは「点呼」、140人を10秒以内に掌握する。見ていて気持ちがいい▼最も特筆すべきはその前の「集合」。集合する場面は、十数回。1回たりとも「集合時刻」を超えることはなかった。すべての時間内に「集合」。「集合」も「点呼」も仲間力あってのこと▼ホテルは、2～3人部屋。男子の部屋どこを覗いても足の踏み場がないほどの散らかりぶり。これはおまけ、笑うしかない。

080522-6 修学旅行に行ってきました